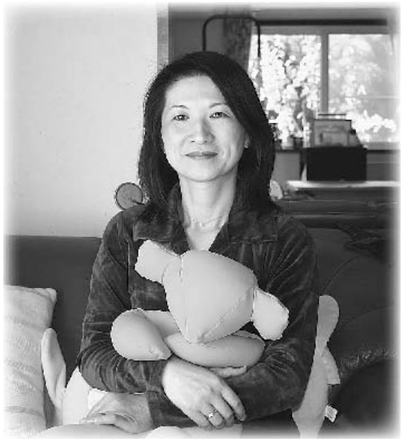
本宮市の皆さんを紹介するページ

みんなのひろば

今月の人

村田由美さん
YUMI MURATA
（糠沢字光が丘）

お話ボランティア「イクタン号ＧＯ」の代表。夢図書館では月２回、子どもたちを対象にした読み聞かせを行っている。岩代地区のおはなし会まつりにも参加し、子どもから大人までを対象に幅広い活動を続けている。高校時代は演劇クラブに所属。お話会では、ちょっとした演劇も披露し、子どもたちを楽しませてくれる。子育て支援ボランティア「さくらんぼ」にも所属し、ボランティアに忙しい日々だが、「とても充実している」と笑顔を見せる。



私の随想録

「人と人との繋がりの中で！」

私は、会津生まれの会津育ち。こちらに越してきて10年余り。冬の臨時休校（雪のため）や吹雪のための学校お迎え等戸惑う事多々。しかし、そんな私も「郷に従え」で慣れてきたものです。そして、今はとても充実した時間を過ごしています。現在「イクタン号ＧＯ」の代表をさせていただいていますが、この事をきっかけにいろいろな繋がりが持てた事にはとても感謝しています。

特に今年10月に郡山で行われた「いのちの祭典２００７ふくしま」ではオラトリオに参加出来た事は今年の十大ニュースの一つです。舞台の上で表現できる醍醐味は感動ものです。私たち（後藤みづほさん率いる10人のメンバー。今回欠席者もありましたが）のオラトリオは、ひとつの題材を音楽や劇・朗読等で表現しています。今回で２回目の上演ですが今年は人権啓発フェスティバルという事もあり、内容もバージョンアップし郡山市内の高校合唱団やアマチュア劇団、そしてお琴の先生等、錚々たるメンバーが加わりました。そんな中で見事素晴らしいオラトリオが完成し無事終了出来たのはこのイベントに関わって下さったすべての方々のおかげだと思っています（私自身の反省点はありますが）。いろいろな葛藤もありましたが、参加できて本当に良かったと思っています。

また、いろいろな人との出会いの中で自分自身も成長できるこの環境に感謝しています。これもやはり家族の理解と協力があってこそだと思います。これからも、人と人との繋がりの中で関わりを大切にし、今以上の自分を見つめていきたいと思っています。

◇　◇　◇　◇　◇

来月は、高橋久美さん（本宮字葭ケ入）の予定です。

保育所・幼稚園紹介　こどものひろば

【第四保育所】

入所者数：８４人
住所：本宮市仁井田字瀬戸川４０
電話：３３－５６４４

第四保育所は旧本宮町で４番目に、昭和54年に開所した保育所です。４号国道から五百川幼稚園・五百川小学校を通り過ぎて踏切を渡ると、緑の屋根が見えるとそこが第四保育所です。

晴れた日には、青い空、安達太良山がくっきりと見えます。

５年前から同じ小学校へ通う子どもたちでもある、五百川幼稚園年長組同士の交流を始めました。

春、五百川小学校の校庭に黄色いれんぎょうの花、桜の花が満開になった日、お互い偶然の出会いの散歩で「はじめまして」「また、あおうね」と。

夏、一緒に行った、不思議な世界プラネタリウム見学で、大きなバスの中での歌やお話、クイズなどをしながら仲良しになりました。

秋、保育所の子どもたちが五百川幼稚園へ訪問し、ゲームを行う中でお互い名前を呼び合い、同じ遊びを通してより友だちになれました。幼稚園で〈びんの牛乳〉を飲み、日ごろは給食ですが手作りのお弁当を一緒に食べました。

運動会が終わると、五百川幼稚園のお友だちが、第四保育所へ来ました。お互い声を合わせて一緒に歌い、運動会で発表した体操やバルーンを見せ合いました。そして、保育所でカレーを食べ幼稚園のお友だちは、「学校の給食みたい」と大喜びをしていました。リレーをして競い合い、サッカーをして楽しみました。あと、３月までに２回の交流が残っています。幼稚園・保育所の保育計画の中に位置づけ、交流前後に職員同士の話し合いを密にした交流に向かっています。

五百川小学校へ行ってからも、この交流体験が基となって、仲間づくり、クラスづくりの一助になればと望んでいます。今後も、統一カリキュラムを基に、同じ年齢は同じ目線でという想いで交流活動を継続していきたいと思います。

保育所のカレーに幼稚園の子どもたちも大喜び

また、いっしょに、あそぼうね

交流体験が終わって、お別れする幼稚園と保育所の子どもたち

FM Mot.Com（エフエム モット コム）秘情報

あの声は、私です・・・

《パーソナリティ紹介》
◆ラジオネーム
上杉源三（ウエスギ　ゲンゾウ）
◆本名：××××（秘密です！）
◆出身：福島市松川町
◆趣味：散歩!?　旅行
◆担当番組：「feel a wind」
（毎週火曜日 午後９時30分）
◆リスナーに一言：私の番組では、ジャズ、ボサノバをＢＧＭに、自分が体験してきた旅行の話やちょっとした散歩のときに感じる季節の風情などをお伝えしています。
秋の夜長（この広報がでるころは冬か？）、ぜひ、聞いてみてください。本宮の夜にホッとする時間をお届けします。
by　ゲンゾウ

もとみや特産品に賭ける人たち

～しらさわワイン～
㈱福舞里

フレッシュで芳醇な香りが大人気！

白沢地区で栽培しているブドウから誕生したオリジナルワイン「しらさわワイン」が、市の特産品として注目を浴びています。

このワインは、旧白沢村が遊休農地対策として策定した「福舞里プラン」の一環として、平成14年から白岩字塩ノ崎地内に栽培したブドウを原料に作られました。今年４月に福舞里プランを実践する法人として設立された㈱福舞里が、ブドウの生産からワインの販売までを行っています。醸造は、山形県の高畠ワイナリーに委託して行っています。

今年はナイヤガラが原料の白ワインが４，０００本、マスカットベリーＡが原料の赤ワインが２，０００本生産され、11月29日から販売されます。価格は、７２０㎖入り１本１，２６０円（税込み）です。

しらさわワインは〝ヴィンテージワイン〟といわれる年代もののワインとは違い、ブドウを収穫したその年の秋に出荷される新酒ワインです。代表取締役の渡辺さんは「今年は夏場が高温であったため、甘みの強いブドウができました。ブドウのフレッシュな香りとフルーティーな味わいのしらさわワインが堪能いただけます」とＰＲしています。

◆お問い合わせ先
（株）福舞里（白岩字堤崎４９４―22　本宮市産業センター内）
☎４４―３６５６

しらさわワインなど市内の特産品をＰＲする㈱福舞里の皆さん。代表取締役　渡辺武一さん（写真左後）、特産課長　菅野真一さん（写真右）、伊東恵子さん

▶白岩地内のブドウ園。1・2㌶に３種類１７０本が植栽されています。